※令和４年度以降入学生用

学校番号	110

令和５年度　情報科

教科	情報	科目	情報Ⅰ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	情報ⅠNext　（数研出版）						
副教材等	情報ⅠNext サポートノート　（数研出版） ３０時間でマスター　Office2019　（実教出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

座学では、情報化社会で生きていく上での基本的な知識を習得し、個人情報・著作権などの問題点を踏まえ、情報モラルを養ってもらいます。プログラミング学習では論理的思考力を身につけてもらいたいと考えています。実習では、ワード、エクセル、パワーポイントなど情報発信に必要な基本的な知識と技能を習得してもらいます。基本的にLAN教室での実習が主体になります。１時間の授業に集中し、わからないことは机間巡視の際、遠慮せず聞いてください。「習うより慣れろ」という気持ちでコンピュータに苦手意識を持たずに楽しみながら授業を受けてほしいと思います。

２　学習の到達目標

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
情報技術が社会で担う役割を理解し、基本的な知識・技能を習得する。	「情報」がもつ意味やはたらきについて考え、判断し、その結果を適切に表現できる力を養う。	問題を認識し、情報技術を活用して解決できる力を養う。論理的思考力を身につける。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・「情報」がもつ意味やはたらきについて理解している。→定期考査、実習課題 ・問題解決を行うためのプロセスを理解し、各プロセスに必要な手順や方法を理解している。→定期考査 ・個人情報やプライバシーの保護・活用に関連する法律の意義や目的、内容について理解し、法にもとづいて情報技術や個人情報を利活用できる。→実習課題	・「情報」がもつ意味やはたらきについて考え、その結果を適切に表現している。 ・問題解決のプロセスについて考え、その結果を適切に表現している。 ・情報を適切に利活用するための法律や個人の責任について考察し、その結果を適切に表現している。 →実習課題、グループワーク	・「情報」がもつ意味やはたらきについて関心をもっている。 ・問題解決に情報や情報機器を適切に活用しようとしている。 ・個人情報やプライバシーを保護することについて関心をもち、個人の責任を果たそうとしている。 →Googleフォームによる毎回の授業の振り返りアンケート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	情　報とメディア	情報とは何か、情報の信ぴょう性とは何かを理解させ、クロスチェックの重要性を実感させる。	a: 一次情報・二次情報といった情報の種類について理解している。 b: 情報の価値や信頼性、情報を検証する方法について考え、判断し、その結果を適切に表現している c:情報の信頼性や情報を検証する方法について関心をもち、積極的に情報を検証しようとしている。	・授業観察 ・実習作品提出 ・定期考査	・サポートノート、レポート課題提出	・サポートノート提出 ・振り返りレポート提出
	情報社会における法とセキュリティ	個人情報保護の重要性や活用について理解させ、肖像権・プライバシー権についても理解させる。	a:情報セキュリティの性質について理解している。 b:セキュリティを確保するために、ユーザ認証やアクセス制御などの必要性について考え、判断している。 c:発展がめざましい情報技術について関心をもっている。	・授業観察 ・実習作品提出 ・定期考査	・サポートノート、レポート課題提出	・サポートノート提出 ・振り返りレポート提出
2学期	情報のデジタル表現	アナログ情報とデジタル情報のちがいやデジタル情報の特徴について理解している。音、画像、動画のデジタル化のしくみについて理解している。	a:アナログ情報とデジタル情報の特徴、しくみを理解している。 b:音、画像、動画のデジタル化する方法について考え、その結果を適切に表現している。 c:アナログ情報、音、画像、動画などのデジタル情報がどのように表されるかについて関心をもっている。	・授業観察 ・実習作品提出 ・定期考査	・サポートノート、レポート課題提出	・サポートノート提出 ・振り返りレポート提出

※令和４年度以降入学生用

	コミュニケーション手段の発展と特徴	古代からの技術的な進歩を概観し、コミュニケーション手段の発展について理解させる。情報を発信するときのメディアの性質を知り、適切なメディアの選択ができるようにする。 ユーザビリティやアクセシビリティ、ユニバーサルデザイン等について、身近な具体例を挙げながら理解させる。	a:情報通信技術の進展がコミュニケーション手段を変化させてきたことを理解している。 b:コミュニケーションの目的や受け手の状況に応じて、情報をどのように活用・表現すればよいか考え、その結果を適切に表現している。 c:コンピュータを活用して情報を受け手にわかりやすく表現することに関心をもち、積極的に工夫している。	・授業観察 ・実習作品提出 ・定期考査	・サポートノート、レポート課題提出	・サポートノート提出 ・振り返りレポート提出
3学期	コンピュータとプログラミング	コンピュータの基本的なしくみとはたらきを理解させる。 問題の解法をアルゴリズムを用いて表現する方法を習得させる。 プログラミングの基本的な考え方を理解させる。 モデル化やシミュレーションの考え方や手順を理解させ、実際の問題解決に活用できるようにする。	a:コンピュータの基本的な構成について理解し、基本的な操作ができる技能を身に付けている。 アルゴリズムをフローチャートなどの図によって表現する技能を身につけている。 b:コンピュータの中の CPU やメモリ、補助記憶装置の役割について考えている。辞書をひくときのアルゴリズムの例にアルゴリズムの効率について考えている。 c:プログラミング言語について関心をもっている。	・授業観察 ・実習作品提出 ・定期考査	・サポートノート、レポート課題提出	・サポートノート提出 ・振り返りレポート提出
	情報通信ネットワークとデータの活用	コンピュータでの通信の基本的な方式やプロトコルについて理解し、インターネットでの通信の原理を学ぶ。 データを分析する前に必要となる、データの形式に関する知識やデータの収集方法、データの種類について理解させる。	a:LAN と WAN など、コンピュータによる通信やモバイル通信に関する知識を身につけている。 目的に応じたデータの収集方法を選択している。 b:データの分析によって得られた結果から、どのようなことがわかるか考えている。 c:データを分析し、傾向を把握することに関心をもっている。	・授業観察 ・実習作品提出 ・定期考査	・サポートノート、レポート課題提出	・サポートノート提出 ・振り返りレポート提出

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度